

(件名) スポーツ・コンベンションセンターの早期建設を求める陳情書

(陳情の趣旨)

県体操協会において大会を開催できる施設は、県体育館と西原商会アリーナの2カ所ですが、体操器具等が県体育館のみに所管されており、県内の大会は全て県体育館で実施しています。

しかし、県体育館は老朽化と狭隘のため大会基準に合致せず、通常は選手の待機場所や動線とすべき場所に点数板及び審判を配置するため競技間のクリアランスを十分確保できず、安全な大会運営に支障を来しています。

また、日本体操協会からは、全日本クラスの大会を鹿児島で開催できないかとの問い合わせもいくつかありますが、前述のような課題があり残念ながらお断りをしなければならぬ現状があります。

県当局から示されたスポーツ・コンベンションセンターの基本構想では、これらの課題に十分に対応できる規模であり、体操競技についてはサブアリーナで県大会を、そして九州・全国クラスの大会はメインアリーナでの開催を想定しています。

そのような中、サブアリーナについて観客席数を半分程度に削減するとの考え方が県当局から示されました。

観客席は、大会を見に来る観客だけが使用するものではなく、選手の待機場所や試合映像の記録席などとしても利用されるため、当初の考え通り500席は確保していただきたいと考えます。

このようなことから、次の項目を陳情します。

(陳情項目)

1. 現在の鹿児島県が抱える大会開催の課題を解決するため、県当局が進めている基本構想に基づき一刻も早く建設に着手されることを鹿児島県体操協会として強く求めます。
2. 建設を進めるにあたりサブアリーナの観客席数を当初の考え通り、500席確保していただきたい。